

平成 31 年 度

(2019 年度)

事 業 計 画 書

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

目 次

1	経営方針	1
2	事業概要	3
3	事業集計表	10
4	事業一覧	11
5	運営施設一覧	24

1 経営方針

2019年は横浜において、第7回アフリカ開発会議、ラグビーワールドカップ2019™が開催され、市内外から多くの来場者を迎えます。ラグビーワールドカップ2019™の期間中は、「横浜音祭り2019」が市内全域を舞台に展開されます。

当財団は、翌年に迫った東京2020オリンピック・パラリンピックも見据え、この機会を捉えて、各施設の特色と企画力を生かした魅力的な事業を国内外に発信することで、文化芸術による街の賑わいの創出、都市のプレゼンス向上に取り組めます。

一方で、これから横浜が直面する少子高齢化の進展や人口減少等の社会課題をふまえ、魅力的な事業の国内外への発信と同時に、次世代育成や社会包摂等、文化芸術と社会をつなぐ取り組みを継続的・重点的に取り組むことが重要となります。

このような状況をふまえ、当財団は2018年度「中期経営計画2018-2021」を策定し、事業の重点取組みと、それを推進する組織の経営強化の方針を掲げました。2019年は、計画の2年目として取り組みを加速させ、成果につなげます。

(1) 重点取組（事業）

ア 横浜らしい特色のある事業の国内外への発信

各施設が特色を発揮し、発信力の高い事業を展開します。

本年は横浜美術館が開館30年の記念の年を迎え、記念事業を通年で展開するほか、横浜能楽堂では改元にちなんだ特別企画公演の開催、横浜にぎわい座では横浜開港160周年にちなみ、横浜・野毛に焦点をあてた事業等、特色あるプログラムを実施します。

また「横浜音祭り2019」では、会場となる横浜みなとみらいホールが、多彩な事業をアウトリーチや社会包摂プログラムと連携しながら展開します。

横浜赤レンガ倉庫1号館では、横浜ダンスコレクション2020開催にあわせ、2017年度に香港、ソウルのダンスフェスティバルと連携して創設した「HOTPOT 東アジア・ダンスプラットフォーム」を横浜で開催する等、国際的な発信力向上につなげます。

イ 子どもたちをはじめとする次世代育成の推進

子どもを対象とした事業に積極的に取り組むとともに、若手アーティスト、クリエイターの活躍の機会を提供する等、未来の横浜の文化を支える人材を支援します。

子どもを対象とした取り組みは、引き続き学校等の教育機関との連携、教員・指導者等への働きかけを進めるほか、ジャズに縁の深い横浜の街の特色を生かし、横浜みなとみらいホールでは中高生を対象とした新たな次世代ジャズプログラムを実施します。また日本最大級のジャズフェスティバル横浜 JAZZ PROMENADE 2019 では、国内のジャズフェスティバルとの交流によりジュニアステージを充実させます。

ウ 芸術と社会をつなぎ共生社会へ向けた基盤整備

多様な人々が楽しむことができる事業の実施、施設管理・運営、情報発信等、全体において社会包摂の視点を持って取り組みます。

(ア) 市民文化活動の支援と地域との連携強化

各施設において継続的に実施している市民文化活動支援事業を基盤として、地域施設、企業、NPO、ボランティア等、様々な関係者と連携・協働することで、活動を拡げます。

神社のお囃子保存会の協力を得て講座や体験のプログラムの展開（磯子区民文化センター）、施設運営や、事業の様々なシーンでのボランティア活動の推進等、各施設の特色を生かして取り組みます。

(イ) 誰もが社会に参画できる取り組みの推進

文化施設への来館が難しい人たちが、文化芸術に触れる機会をつくるアウトリーチの実施、特別支援学校・特別支援学級、福祉施設や福祉団体等との連携による事業実施、高齢者や子どもたちの居場所づくり等、多様な人々が文化活動に参画できる事業を実施することで、文化芸術を通じた社会包摂の取り組みを推進します。

(ウ) 創造性を生かしたまちづくりの推進

都心臨海部および郊外部の公園や広場等、公共空間を活用し、文化芸術とともに、横浜の街の魅力を発信するような事業を展開します。

またアーツコミッション・ヨコハマでは、様々なプレイヤーが出会い、シナジーを生み出すための触媒機能を担う都市基盤「文化芸術創造都市プラットフォーム」から、公共空間活用、横浜のブランド形成に資する取り組みとして、企業や民間団体との協働プロジェクトを行います。また新たな助成事業として創造産業・クリエイターを支援する助成を開始するなど、クリエイター、企業、行政、大学、地域社会等の連携をすすめ、創造性を活かした新たな横浜の魅力づくりにつなげます。

(2) 経営の強化

ア 財務

財団の自立性向上と事業を推進していくための体力強化のため、自己収入の着実な確保、経費の適切な執行に向けた取組みや予算執行管理の意識づけと仕組みづくりを行います。

一方で横浜美術館開館30周年事業に自己資金を投入することで、事業の充実、規模拡大を行い、発信力の強化、来場者拡大につなげます。

イ 人材育成

財団人材マネジメントポリシーに則り、職員一人一人のプライドと責任、実践力を醸成することを目指し人材育成を行います。

2019年度は職階の役割に応じた研修の実施とともに、職員のモチベーション向上を目指し、職員の行動、実績を処遇に反映するよう人事評価制度の改訂と整備を進めます。

ウ 施設運営

東京2020オリンピック・パラリンピック閉幕後、横浜美術館、横浜みなとみらいホールは、長期休館を伴う大規模改修工事が決定しています。本年度は、収蔵品等の移動と保管、休館中の活動場所、活動内容、改修工場の具体的内容等について市と協議をし、準備を進めます。

また横浜市民ギャラリーあざみ野、磯子区民文化センターの次期提案が予定されています。施設の役割を再確認し、今期の成果と課題、地域ニーズ等を踏まえ、提案を行います。

2 事業概要

中期経営計画（2018-2021）の重点取組から主な事業を紹介

（1）横浜らしい特色のある事業の国内外への発信

■ 横浜美術館開館 30 周年事業 （横浜美術館）

開館 30 周年を迎える横浜美術館は、その記念展として、多様なコレクションに焦点をあてた 3 つの企画展を開催します。4 月からの「Meet the Collection —アートと人と、美術館」展では、12,000 点を超えるヴァリエティ豊かなコレクションから各分野の名品を中心に 300 点を展示します。4 人のアーティストをゲストに迎え、作品同士の出会いの場を創出し、アートの自由な見方や多様な関わり方を提案します。7 月からの「原三溪の美術 伝説の大コレクション」展では、原三溪の生誕 150 年・没後 80 年を記念して、横浜が輩出した希代の文化人・原三溪の業績を、芸術文化とりわけ美術との関わりに焦点を当て、三溪旧蔵の古美術や近代美術など、国宝、重文を多数含む約 150 点により、三溪自身の美術史観も織り込みつつ紹介します。9 月からの「オランジュリー美術館コレクション ルノワールとパリに恋した 12 人の画家たち」展では、ルノワールやピカソなど、印象派とエコール・ド・パリを中心とする珠玉の名画約 70 点を、オランジュリー美術館のコレクションが築かれた歴史も紐解きながら紹介します。



オーギュスト・ルノワール 《ピアノを弾く少女たち》
1892 年頃、油彩・カンヴァス、116×81cm、オランジュリー美術館
© RMN-Grand Palais (musee de l'Orangerie) / Franck Raux

「美術でつなぐ人とみらい」をテーマとして掲げ、上述の企画展のほか、記念式典や国際シンポジウムの開催、記念誌の発行、記念グッズの販売等、様々な事業を通じて、30 年の活動をふりかえるとともに、未来像を国内外に発信します。

また、今年度はカナダの美術館で、横浜美術館の写真コレクション展が開催されます。横浜美術館のコレクションを通じ、国際都市横浜の魅力を海外に発信します。

■ 横浜音祭り 2019 （横浜みなとみらいホール）

フェスティバルの主会場のひとつとして、ホールの特色を生かした魅力的な事業を展開し、成功に貢献します。10 月には 2018/19 シーズンから「チェコ・フィルハーモニー管弦楽団」の首席指揮者に就任した名匠、セミヨン・ビシュコフの指揮による、同楽団の公演を開催。スメタナのモルダウなどチェコの音楽とチャイコフスキーの交響曲第 5 番の演奏に注目が集まります。

また 9～11 月には、横浜みなとみらいホールの特色の 1 つである、パイプオルガンに焦点をあてた事業、「パイプオルガンと横浜の街」を行います。横浜は日本で初めてパイプオルガンが設置され、今も市内に数多くのパイプオルガンがあります。ホール、ミッションスクール、教会、結婚式場など、パイプオルガンをめぐりながら、横浜の街の魅力を再発見する事業となります。また世界トップレベルのオルガニストによる本格的なオルガンリサイタルや、注目の若手オルガニストを招聘するコンサートを開催し、パイプオルガンの魅力を堪能いただけます。

■ 企画公演「東次郎 家伝十二番」、特別企画公演「大典 奉祝の芸能」 （横浜能楽堂）

大蔵流狂言方の「人間国宝」山本東次郎が東次郎家に伝わる芸の中から十二番を選び、月に 1 番を年間のシリーズ公演として自らが演じます。「翁」の三番三に始まり、能「船弁慶」の間狂言、そして

上演頻度の少ない稀曲・秘曲も織り交ぜて狂言の奥深い魅力を毎月紹介します。横浜能楽堂では2007年からスタートした普及公演「横浜狂言堂」の人気により鑑賞者が拡大し、狂言鑑賞を望む声が高まっています。そのニーズに応え、シリーズすべてを人間国宝・山本東次郎が演じる、初心者にも見巧者にも見ごたえのあるプログラムとなっています。

また、6月、7月には、2019年の新天皇即位の慶事に際し、特別企画公演「大典 奉祝の芸能」を実施。古典芸能の中から皇室縁の曲や祝儀曲を集めて上演します。なかでも大正天皇の即位を祝して作られた能「大典」は、以来上演されておらず、今回100年ぶりの復曲となります。横浜での上演後11月には、ジャパソサエティの主催でニューヨークでの公演も予定、日本の古典芸能の魅力を海外へも発信します。

■横浜開港160周年記念 「ダメじゃん小出の黒く塗れ！ vol.38 横濱テーマに本気〜トーク」 ／ 森直実写真展 同時開催（横浜にぎわい座）

横浜にぎわい座がある横浜・野毛は、街の成り立ちに横浜開港の歴史が大きく影響しています。今年度は横浜開港160周年にちなみ、横浜・野毛のにぎわいを伝える公演と写真展を開催します。シリーズ企画として横浜にぎわい座で長く開催され、38回目を迎える、スタンダップ・コメディ公演、「ダメじゃん小出の黒く塗れ！ vol.38」において、“横濱をテーマに本気〜トーク”と題し、横浜・野毛について語ります。また、にぎわい座2階情報コーナーでは、野毛大道芸実行委員会アドバイザーを務め、野毛の街に深いつながりのある、森直実による写真展を同時開催します。

■横浜ダンスコレクション2020、第3回 HOTPOT 東アジア・ダンスプラットフォーム、 AND+ (ASIA NETWORK FOR DANCE)、国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2020 (TPAM 2020) (横浜赤レンガ倉庫1号館、協働推進グループ)

今年度、横浜、香港、ソウルの東アジアを代表する3つのダンス・フェスティバルが連携して創設した「HOTPOT 東アジア・ダンスプラットフォーム」が、「横浜ダンスコレクション2020」に合わせて横浜で開催されます。これまで丁寧に関係性を構築してきた振付家、ダンサー、各国のディレクターやプロデューサー等との関係性を発展させ、国際ネットワークの拡大・充実を目指します。またアジアにおけるコンテンポラリーダンス専門家とのネットワーク「AND+」(ASIA NETWORK FOR DANCE)を立ち上げ、年2回程度のミーティングを通じて協働を強化し、アジアのダンスシーンにおける様々な課題解決を目指します。



横浜ダンスコレクション2019 レセプションの様子
Photo: 塚田洋一

また横浜ダンスコレクションは毎年、同時期に開催する国際舞台芸術ミーティング in 横浜 (TPAM) と連携することで、相乗効果によりネットワークを広げています。今回も引き続き連携を強め、アジアにおけるパフォーマンスアーツの重要な拠点としてのプレゼンスをさらに高めていきます。

■大和和紀『ヨコハマ物語』×大佛次郎の横濱（大佛次郎記念館）

漫画家・大和和紀の作品、『ヨコハマ物語』を取り上げ、大佛次郎の幕末・明治の横浜を舞台とした開化小説と織り交ぜて展示することで、華やかで、多様性と混沌に満ちた開化期「ヨコハマ」を再現する展覧会を開催します。大佛次郎記念館では、初めて現役作家の作品を取り上げることとなり、異なる視点から、幅広い層に大佛次郎の魅力を伝えます。

(2) 子どもたちをはじめとする次世代育成の推進

子どもたちを対象とした事業

■ 横浜市こどもの美術展、あざみ野こどもぎやらりい 2019

(横浜市民ギャラリー、横浜市民ギャラリーあざみ野)

1965年から50年以上続く「横浜市こどもの美術展」(横浜市民ギャラリー)は、子どもの感性に優劣をつけるのではなく、「やってみよう」という気持ちを大事にする、無審査の展覧会です。2014年に、現在の地に移転後、応募しやすいようにテーマ設定する等、アーティストとの連携による工夫を行い、着実に応募作品数・来場者数を増やしています。

「あざみ野こどもぎやらりい」(横浜市民ギャラリーあざみ野)は、毎年さまざまなジャンルのアーティストによる作品を紹介し、会場では子どもたちが参加できる仕掛けを用意して、アートを全身で感じる“体験”を大事に実施しています。今回は映像・アニメーション作家の松本力氏による作品で会場全体を異空間に変身させ、子どもたちを不思議な世界へ誘います。

■ みなとみらい Super Big Band、次世代へのジャズプログラム (横浜みなとみらいホール)

横濱 JAZZ PROMENADE 2019 ジュニア・ジャズステージ (協働推進グループ)

ジャズとの縁が深い街の特徴を生かし、当財団ではこれまで、子どもたちへのジャズの普及に取り組んできました。

横浜みなとみらいホールの事業から誕生した、ホール専属の中高生ビッグバンド、「みなとみらい Super Big Band」は、札幌市、金沢市のフェスティバルとの交流等、活動を広げています。

本年度、横浜みなとみらいホールでは、プロのジャズミュージシャンによるワークショップやプロと同じステージに立つての成果発表等を行う、中高生を対象とした「次世代へのジャズプログラム」を開始します。みなとみらい Super Big Band との共演も行うことで、若い世代へのジャズの普及と交流に、さらに力を注ぎます。

27回目を迎える「横濱 JAZZ PROMENADE 2019」は、これまでもジュニアのビッグバンドが各地から参加していましたが、今回はさらに札幌、仙台、神戸等のジャズフェスティバルとの連携を視野に入れ、ジュニアステージの充実を図ります。



みなとみらい Super Big Band
横浜みなとみらいホールでの演奏の様子(2018年)

■ 太神楽曲芸体験教室 (横浜にぎわい座)

横浜にぎわい座では、子ども達を対象に、夏休みに「太神楽曲芸」の体験教室を実施します。和傘の上で鞠や枀を回す芸でおなじみの太神楽曲芸は、獅子舞と曲芸が信仰と結びつくことによって江戸時代に成立し、寄席の芸能としても親しまれてきました。講師に水戸大神楽の柳貴家雪之介を迎え、子どもたちが実際に太神楽曲芸を体験することで、日本の伝統文化への理解を深める機会を提供します。

■ 学校等教育機関との連携、教師・指導者等への取り組み (横浜美術館、横浜能楽堂、横浜赤レンガ倉庫1号館、磯子区民文化センター、横浜市民ギャラリー、横浜市民ギャラリーあざみ野)

学校や教師等、指導者と連携することで、子どもたちがより身近に文化芸術に触れる機会を拡大します。複数の施設において継続的に学校単位での団体鑑賞の機会も設け、本格的な環境での芸術体験を提供するほか、教師等の指導者への取組みに注力します。

横浜美術館や横浜市民ギャラリー、横浜市民ギャラリーあざみ野では、保育園や幼稚園、小中学校の指導者等に向けた研修の実施。横浜美術館では、2016年から開始した、コレクション作品を活用し、市内中学校美術科教師と協働して授業案作成を行う取り組みを今年度も実施します。横浜能楽堂では、教科書で取り上げられている『柿山伏』を題材に、狂言師による講座を教育関係者や教員を目指す人たちを対象に行います。横浜赤レンガ倉庫1号館では、振付家による教員向け協働プログラムを実施します。磯子区民文化センターでは磯子区音楽教育研究会と連携し、教員の研修事業をサポートします。教員等関係者向けのプログラムの充実に努め、教育機関との連携強化を図ります。

若手アーティスト、クリエイターの支援事業

■若手アーティストの活動支援

(横浜美術館、横浜みなとみらいホール、横浜にぎわい座、横浜赤レンガ倉庫1号館)

各施設が、その専門性を生かして、次代を担う若いアーティストの活動の支援を行います。横浜美術館の「New Artist Picks」、横浜みなとみらいホールの「Just Composed 2020 in Yokohama」「横浜市招待国際ピアノ演奏会」「ホールオルガニスト・インターンシップ」、横浜にぎわい座「登竜門シリーズ in のげシャレー」、横浜赤レンガ倉庫1号館の「横浜ダンスコレクション」のコンペティションや受賞者公演など、アーティストが横浜でチャレンジングに表現活動を行い、国内外へ活動を広げることができるようバックアップを行います。

■アーティスト、クリエイターの活動支援 (広報・AGYグループ)

アーツコミッション・ヨコハマの「創造都市横浜における若手芸術家育成助成 クリエイティブ・チルドレン・フェローシップ」では、39歳以下の美術、舞台芸術の分野で創造的な活動をする美術家、劇作家、演出家、振付家、ダンサーへ助成することで、その育成と、そのキャリアアップを支援しています。地方自治体として個人アーティストを直接支援する助成は全国でも珍しい取り組みです。これまで採択されたアーティストは12名(延べ19名)。その後の国内外での活躍につながっています。今年度も引き続き、活動支援に注力します。

(3) 芸術と社会をつなぎ、共生社会へ向けた基盤整備

ア 市民文化活動の支援と地域との連携強化

■アート de 伝承プロジェクト (磯子区民文化センター)

各地で伝統芸能の深刻な担い手不足、後継不足が課題となる中、地域文化拠点である劇場が媒介となり、地域の人々が磯子区の寺社仏閣に伝承されてきたお囃子や神楽等、地域のお祭り文化を調査し、若い世代に伝えていく取り組みを実施します。

地元神社のお囃子の担い手と、磯子区民文化センター杉田劇場で旗揚げした劇団や区民が交流したり、学校の先生を対象に、お囃子や神楽の講座を設けたりするなど、地域の伝統を広く伝承していきます。



磯子区内にある3つのお囃子のひとつ、森浅間神社お囃子

■わくわくプラス！（横浜みなとみらいホール）

プロ、アマチュアの枠を超え、吹奏楽を愛する人々が、横浜みなとみらいホールのステージで共演し、その大きな感動をステージ上から客席まで波及させ、吹奏楽を“演りたい・聴きたい”と思う人を増やす事業です。WEBでの動画配信も行い、通常の演奏会とは異なる音楽の楽しみを発信しています。吹奏楽発祥の地であり、毎年「全日本高等学校吹奏楽大会」が開催されるなど、吹奏楽が盛んな横浜ならではの事業です。

■ボランティア活動の推進

（横浜美術館、横浜市民ギャラリー、横浜市民ギャラリーあざみ野、磯子区民文化センター、横濱 JAZZ PROMENADE 2019）

多くのボランティアが活躍する横浜美術館では今年度から、ボランティアの関心や状況にあわせて活動に参加でき、さらに幅広い美術館活動を体験できるよう、ビジターサービスボランティアと鑑賞ボランティアと一緒に活動できるようにします。

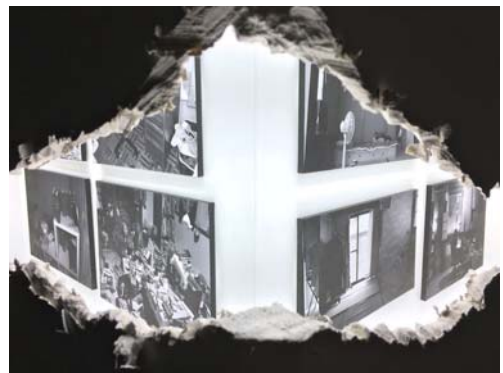
横浜市民ギャラリーの「横浜市こどもの美術展」では、中高生ボランティアも多く活躍しています。また横浜市民ギャラリーあざみ野や磯子区民文化センター、横濱 JAZZ PROMENADEの実施においても引き続きボランティア活動を促進し、市民が主体的に文化芸術活動を行う場をつくります。

イ 誰もが社会に参画できる取組の推進

■クリエイティブ・インクルージョン活動助成（アーツコミッション・ヨコハマ）

横浜市の「文化芸術の創造性を生かしたまちづくり」をふまえ、誰もが互いに尊重し、支え合う共生社会の実現を目指す「クリエイティブ・インクルージョン」の理念に基づく助成です。アーティストの創造性を生かした社会包摂を試みる多様なプロジェクトを支援し、誰もが対等な関係で関わり合える社会の実現を目指します。

これまで採択された事業は、2020年以降の社会を見据えた、新たな基準となるような視点が提示され、メディアで紹介される等、注目されています。



クリエイティブ・インクルージョン活動助成2018年度採択事業
渡辺篤「アイムヒアプロジェクト」
© I'm here project / Atsushi Watanabe 2018-2019

■企業・地域と劇場をつなぐ 赤レンガ・ダンスプロジェクト（横浜赤レンガ倉庫1号館）

ダンスをしたことがない、興味はあるが機会がない、劇場があることを知らない、そうした方々へもっとダンスや劇場を知っていただく場を、地域の企業と連携して実現する事業です。3回目となる今回は、株式会社横浜赤レンガ（横浜赤レンガ倉庫2号館）と連携して実施します。横浜赤レンガ倉庫で働くスタッフがダンサーとなり、振付家によるオリジナルダンスの創作、WEBやSNSでの動画配信、横浜赤レンガ倉庫広場での発表等を行います。参加者だけでなく、オリジナルダンスを目にした人々が、より身近にダンスを感じてもらえる機会をつくります。

■バリアフリー能（横浜能楽堂）

19 回目を迎える横浜能楽堂「バリアフリー能」は 2000 年の事業開始以来、公演終了後に意見交換の場を持ち、参加者へのヒアリングを行う等、工夫を重ね、改善を繰り返しています。その取り組みは先駆的な事例として、多方面から注目されており、今年度は、能楽協会が主催する「ESSENCE 能～バリアフリー対応～」へ協力を行うなど、広がりを見せています。

■ 障がい児のためのプログラム

（横浜美術館、横浜みなとみらいホール、横浜市民ギャラリーあざみ野）

横浜みなとみらいホールでは、2010 年から毎年、市内の盲特別支援学校の生徒を対象としたパイプオルガンのワークショップを実施しており、今年度で 10 回目を迎えます。また「音と光の動物園」では、東京藝術大学 COI 拠点や公益財団法人ベネッセこども基金、特定非営利活動法人 ADDS と連携し、発達障がいのある子どもとその保護者を対象としたワークショップを実施しています。

横浜美術館では、市内の特別支援学校・養護学校の生徒を対象にした学校プログラムを実施、横浜市民ギャラリーあざみ野では、月に 1 回障がいのある子どもたちを対象にした「親子で造形ピクニック」を実施しています。参加者ごとのサポートに配慮が必要なため、各事業において学校や専門家と密に連携して情報共有を行い、当日に子どもたちが安心してのびのびとアートに触れる場を提供しています。

■病院、福祉施設、高齢者施設等へのアウトリーチ（横浜美術館、横浜にぎわい座）

美術館や劇場等の社会における役割を広げる取り組みとして、来館が難しい方々へ向けたアウトリーチを行っています。横浜美術館では、入院中の子どもたちを対象とした病院でのワークショップの実施や、特別養護老人ホームでの認知症の高齢者を対象とした造形プログラムの実施など、横浜美術館に来館することができない方へ向けた事業を行っています。また横浜にぎわい座は、福祉施設での出張寄席を行い、高齢者が演芸に触れる機会をつくっています。

■杉劇ちょこっとカフェ（磯子区民文化センター）

地域の子どもたちの放課後の居場所として、また子どもから大人まで交流できる場として文化施設を活用する取組みを行います。地域の方が先生となり、様々なワークショップを行い、集った人たち同士の会話、交流が生まれる工夫とともに開催しています。今年度からは、これまでの事業の経験を生かして取組みを広げ、地域の高齢者が過ごせるような場づくりにも取り組めます。

ウ 創造性を生かしたまちづくりの推進

■横濱 JAZZ PROMENADE 2019（協働推進グループ）

横浜の街を舞台にジャズの演奏を繰り広げる、日本を代表するフェスティバルです。関内・みなとみらいを中心とした街角ライブは、賑わいを見せ、近年そのエリアは、横浜駅西口、東口エリアまで広がりを見せています。横浜の秋の風物詩として、音楽とともに、街の魅力を内外に発信しています。



横濱 JAZZ PROMENADE2018
カップヌードルミュージアム前での街角ライブの様子 ©YJP(撮影:クルー長沢)

■アートリンク in 横浜赤レンガ倉庫 (横浜赤レンガ倉庫1号館)

横浜らしい景観の中で楽しむ屋外スケートリンクは、アーティストとのコラボレーションにより横浜独自のコンテンツとして、毎年注目を集め、多くの来場者を迎えています。近年は、高校美術部生によるアート作品や、新進気鋭のアーティストによる作品とのコラボレーションを展開しています。

■クイーンモールミュージシャン (横浜みなとみらいホール)

横浜みなとみらいホールが街と連携して企画・実施し、みなとみらいのショッピングモール内のオープンスペースでミニ・コンサートを行います。みなとみらいを訪れる人たちに音楽に触れる機会を提供することで、「コンサートホールのある街」を発信し、みなとみらいの街の魅力づくりに貢献します。

■文化芸術創造都市プラットフォーム (広報・ACYグループ)

横浜に集うアーティストやクリエイターと、企業や行政、大学、NPO や市民団体などとの出会いをつくり、そこから相乗効果を生み出していくような、創造力を活かしたまちづくりの基盤を整えています。顔と顔とがにつながる関係性を大事にし、分野やジャンルを横断したアイデアや視点の交換から相乗効果が生まれるような場を、時間をかけて育んでいます。

【コラム】国内外からの来訪者へ向けた取り組み

2019年は、ラグビーワールドカップ2019™、第7回アフリカ開発会議の開催年です。東京2020オリンピック・パラリンピックを翌年に控え、国内外から横浜に注目が集まる2年間を迎えます。この機を捉え、当財団では市内の気運の醸成につながる様々な取り組みを展開します。

ラグビーワールドカップ2019™の開催期間(2019年9月～11月)には、「横浜音祭り2019」、横浜美術館30周年記念「オランジュリー美術館展」、横浜JAZZ PROMENADE 2019等、特色ある文化事業を華やかに実施し、多くの来場者を横浜に迎えます。

横浜美術館とその周辺の公共空間においては、横浜市との連携のもと、来街者が美術館の夜間開館にあわせ、夕方から夜にかけて、美術館とまちを一緒に楽しむようなシンボルプログラムを展開します。一方で、加速する高齢化社会等、2020年以降の市民社会を見据えた先進的・実験的な取り組みを、横浜の郊外部において、地域施設や福祉施設等と連携して実施します。(リーディングプログラム)

また横浜能楽堂での訪日外国人旅行者をターゲットとしたプログラムの実施、横浜赤レンガ倉庫1号館での、ラグビーワールドカップ2019™との連携による展覧会の開催等、ビッグイベントとの連携・相乗効果により、横浜の新たな魅力として文化芸術を発信する機会をつくります。

3 事業集計表

(1) 公益目的事業

ア 公演・展示・講座等実施数

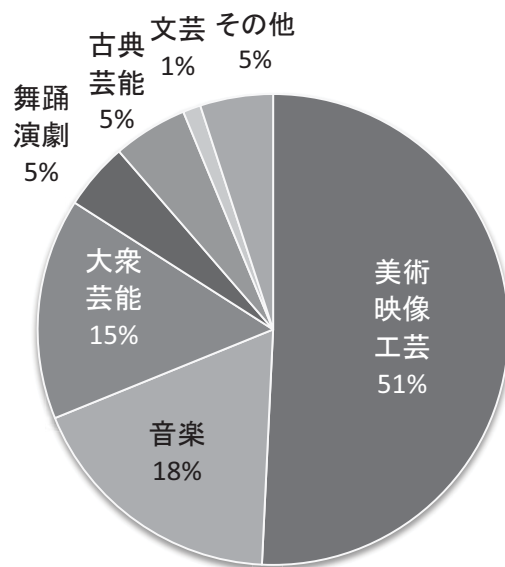
平成31年度計画	1,718
平成30年度計画	1,692

イ 入場者・参加者数見込み

平成31年度計画	約 1,238,000 人
平成30年度計画	約 1,137,000 人

ウ ジャンル別 公演・展示・講座等実施予定数

美術 映像 工芸	音楽	大衆 芸能	舞踊 演劇	古典 芸能	文芸	その他	合計
872	311	261	79	88	21	86	1,718



※ 実行委員会事務局等により当財団が参画する公益目的事業（集計不算入）

- ・ 横浜音祭り2019（横浜みなとみらいホールの主催事業を除く）
- ・ 横濱JAZZ PROMENADE 2019
- ・ 国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2020（TPAM 2020）
- ・ ヨコハマアートサイト2019
- ・ 横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム
- ・ 横浜赤レンガ倉庫イベント広場での事業（「アートリンク in 横浜赤レンガ倉庫」を除く）

(2) 収益事業

上に集計した公益目的事業の他、各施設におけるショップ運営、チケット受託販売、駐車場運営等の収益事業を行います。

4 公益目的事業一覧

■横浜美術館

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

No.	実施時期	事業名	会場
1	4月-6月	[企画展]Meet the Collection —アートと人と、美術館	企画展展示室
2	7月-9月	[企画展]原三溪の美術 伝説の大コレクション	企画展展示室
3	9月-1月	[企画展]オランジュリー美術館 ルノワールとパリに恋した12人の画家たち	企画展展示室
4	未定	New Artist Picks	アートギャラリー1、 カフェ小倉山
5	通年	外部との連携	—

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

No.	実施時期	事業名	会場
6	通年	子どものアトリエ	子どものアトリエ
7	通年	子どものアトリエ アウトリーチ (病院等)	館外
8	通年	市民のアトリエ	市民のアトリエ他
9	通年	市民のアトリエ アウトリーチ (高齢者施設)	館外
10	通年	教育プロジェクト 鑑賞教育事業	コレクション展示室他
11	通年	教育プロジェクト アウトリーチ (若者支援)	館内外
12	通年	人材育成 (博物館実習、インターンシップ等)	展示室他
13	通年	市民協働 ボランティア育成事業等	コレクション展示室、 8Fスクールスペース他
14	通年	広報・ビジターサービス事業	展示室他
15	通年	横浜美術館コレクションフレンズ	—

③芸術文化資源の収集、保存及び活用(定款第4条第1項第5号)

No.	実施時期	事業名	会場
16	通年	横浜美術館コレクション展 第1期1・第2期	企画展展示室
17	通年	コレクションの形成・収集調査	館内外
18	通年	コレクションの保存・研究	—
19	通年	コレクションの画像撮影と公開	—
20	通年	美術情報センター運営及び普及事業	美術情報センター

④芸術文化に関する情報の収集及び提供(定款第4条第1項第6号)

No.	実施時期	事業名	会場
21	6月	年報発行	—

⑤芸術文化に関する調査研究及び政策提言(定款第4条第1項第7号)

No.	実施時期	事業名	会場
22	3月	研究紀要発行	—

⑥芸術文化振興のための国内外との交流(定款第4条第1項第8号)

No.	実施時期	事業名	会場
23	4月他	開館30周年事業 (企画展(再掲)/記念式典/記念誌発行/国際シンポジウム/グッズ制作等)	企画展展示室他
24	通年	ヨコハマトリエンナーレ2020の準備	—
25	通年	コレクションパッケージ展あるいは企画展の海外巡回 (2021年・22年実施に向けた準備)	—
26	通年	海外インターン生受入	—

■横浜みなとみらいホール

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

No.	実施時期	事業名	会場
1	4月-6月	横浜芸術アクション事業 「金の卵を探しています。」/「金の卵見つけました」	小ホール
2	5月	横浜芸術アクション事業 横浜銀行Presents こども未来ミュージック・プログラム こどもの日コンサート 2019	大ホール
3	6月	横浜芸術アクション事業 ハチャトゥリアン・コンチェルト	大ホール
4	6月	Grand Organ Gala Concert	大ホール
5	6月-7月	障がい児童のための音楽体験事業	大ホール
6	6月-7月	MMCJ ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン ヨコハマ 2019	大ホール 小ホール ほか
7	8月	横浜芸術アクション事業 おやこオペラ教室	大ホール
8	8月	横浜銀行Presents こども未来ミュージック・プログラム パイプオルガンを弾いてみよう & わくわく探検隊	大ホール・施設内各所
9	8月	夏休みこども事業 ハマのJACK	小ホール
10	8月	横浜芸術アクション事業 横浜音祭り2019プロモーション・イベント	大ホール・小ホール
11	9月	0歳からのオルガン・コンサート	大ホール
12	9月	横浜音祭り2019 原田慶太楼指揮 日本フィルハーモニー交響楽団と福間洸太郎 & 貫川風	大ホール
13	9月-10月	横浜音祭り2019 心の教育ふれあいコンサート	大ホール
14	9月-11月	横浜音祭り2019 パイプオルガンと横浜 in 横浜音祭り2019	大ホール他
15	10月	横浜音祭り2019 村治佳織ギターリサイタル	小ホール
16	10月	横浜音祭り2019 セミヨン・ビシュコフ指揮 チェコ・フィルハーモニー管弦楽団	大ホール
17	10月	横浜音祭り2019 次世代へのジャズ・プログラム	大ホール
18	10月	横浜音祭り2019 ビヨンド・ザ・ボーダー音楽祭	小ホールほか
19	10月	横浜芸術アクション事業 発達障がい支援ワークショップ in 横浜「音と光の動物園」	リハーサル室
20	11月	横浜音祭り2019 第38回横浜市招待国際ピアノ演奏会	小ホール
21	11月	横浜音祭り2019 ミュージック・イン・ザ・ダーク	小ホール
22	11月-1月	全日本学生音楽コンクール/ クラシック・ヨコハマ「生きる」	大ホール 小ホール
23	12月	人気ジャズピアニストによるアコースティック・ライブ!	大ホール
24	12月	クリスマス・パイプオルガン・コンサート	大ホール
25	12月	ジルヴェスターコンサート 2019-2020	大ホール
26	1月	ニューイヤー・コンサート2020	大ホール
27	1月	デーモン閣下の邦楽維新 Collaboration	小ホール
28	1月	石田泰尚 ベートーヴェン ピアノトリオ全曲演奏会	小ホール
29	3月	横浜芸術アクション事業 Just Composed 2020 in Yokohama 現代作曲家シリーズ	小ホール
30	3月	ズヴェーデン指揮 香港フィルハーモニー交響楽団	大ホール

31	未定	横浜芸術アクション事業 クリエイティブ・インクルージョン事業	未定
32	通年	ホールオルガニストインターンシップ・プログラム	大ホール他
33	通年	みなとみらいクラシック・マチネ	大・小ホール
34	通年	オルガン1ドルコンサート	大ホール
35	通年	オルガン3館連携事業	未定
36	5月-3月	神奈川フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会/ POPSオーケストラ	大ホール 小ホール
37	5月-3月	日本フィルハーモニー交響楽団 横浜定期演奏会/ 夏休みコンサート/第九特別演奏会	大ホール
38	5月-3月	読売日本交響楽団 みなとみらいホリデー名曲コンサート	大ホール
39	5月-3月	新日本フィルハーモニー交響楽団 横浜みなとみらい特別演奏会	大ホール
40	5月-3月	(貸館鑑賞公演支援) みなとみらいアフタヌーンコンサート	大ホール
41	5月-3月	(貸館鑑賞公演支援) 華麗なるコンチエルトシリーズ/ウィーン少年合唱団 ほか	大ホール
42	5月-3月	(貸館鑑賞公演支援) 横浜パロック室内合奏団定期演奏会/ヴィルトウオーゾ横浜/山手プロムナードコンサート /ヨコハマ・ワーグナー祭 ほか	小ホール
43	5月-3月	(若手演奏家育成=各種コンクール支援) かながわ音楽コンクール/ピティナ・ピアノコンペティション/カワイ音楽コンクール/ ヤマハジュニア専門コース ソロコンサート ほか	小ホール

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

No.	実施時期	事業名	会場
44	通年	みなとみらいSuper Big Band	小ホール、 クイーンズスクエア 他
45	5月	第11回 国際シニア合唱祭 ゴールデンウエーブ in 横浜	大ホール
46	8月	ヤング・アメリカンズ・ジャパンツアー2019	大ホール
47	9月	横浜音祭り2019 わくわくプラス! in 横浜音祭り2019	大ホール
48	通年	地域連携携外事業(かもめスクール、クイーンモールミュージシャン、ほか)	レセプションルーム 他
49	9月-11月	試聴ラウンジ	レセプションルーム
50	10月	横浜 JAZZ PROMENADE 2019	大ホール
51	11月	全日本高等学校吹奏楽大会 in 横浜	大ホール
52	2月	ヨコハマ・コーラルフェスト	大・小ホール
53	3月	ヤマハ・リトルミュージシャンコンサート	大ホール
54	通年	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム	市内小学校

■横浜能楽堂

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

No.	実施時期	事業名	会場
1	4月	史上空前の狂言会—30人超 VS たった1人	横浜能楽堂 本舞台
2	4月-3月	東次郎 家伝十二番	横浜能楽堂 本舞台
3	4月-3月	普及公演「横浜狂言堂」(夏の特別公演含む)	横浜能楽堂 本舞台
4	6月-7月	特別企画公演「大典 奉祝の芸能」	横浜能楽堂 本舞台
5	10月	特別公演—蠟燭能—	横浜能楽堂 本舞台
6	12月	普及公演「眠くならずに楽しめる能の名曲」	横浜能楽堂 本舞台
7	2月	神奈川県立歴史博物館連携企画公演「井伊直弼が作った能と狂言」	横浜能楽堂 本舞台
8	3月	普及公演「バリアフリー能」	横浜能楽堂 本舞台
9	通年	常設展	横浜能楽堂 2階展示廊
10	未定	特別展「山本東次郎家の狂言面と装束(仮称)」	横浜能楽堂 2階展示廊
11	未定	動画配信事業	-

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

No.	実施時期	事業名	会場
12	4月-8月	初めての能楽教室	横浜能楽堂 楽屋・研修室・本舞台・第二舞台
13	6月	第67回横浜能	横浜能楽堂 本舞台
14	7月	特別講座「先生のための狂言講座」	横浜能楽堂 本舞台
15	7月	こども狂言ワークショップ 入門編	横浜能楽堂 第二舞台
16	11月	第36回かもんやま能	横浜能楽堂 本舞台
17	1月-3月	こども狂言ワークショップ 卒業編	横浜能楽堂 第二舞台
18	3月	横浜こども狂言会	横浜能楽堂 本舞台
19	未定	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム	未定 (市内小学校)

③芸術文化活動拠点の開発及び運営(定款第4条第1項第4号)

No.	実施時期	事業名	会場
20	未定	来館促進事業	全館

④芸術文化資源の収集、保存及び活用(定款第4条第1項第5号)

No.	実施時期	事業名	会場
21	通年	横浜能楽堂アーカイブ事業	—

⑤芸術文化に関する調査研究及び政策提言(定款第4条第1項第7号)

No.	実施時期	事業名	会場
22	通年	調査・研究、国際交流、その他事業	—

■横浜にぎわい座

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

No.	実施時期	事業名	会場
1	4月-3月	横浜にぎわい寄席	芸能ホール
2	4月-3月	名作落語のタベ	芸能ホール
3	4月-3月	企画興行(芸能ホール)	芸能ホール
4	4月-3月	企画興行(のげシャール)	のげシャール
5	4月-3月	登竜門シリーズ in のげシャール	のげシャール
6	4月-3月	受託事業、貸切公演、共催事業	芸能ホール／のげシャール
7	4月-3月	事業連携、他施設連携	のげシャール／その他
8	4月-3月	企画展示・館内装飾	全館

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

No.	実施時期	事業名	会場
9	4月-3月	鑑賞者育成事業 (寄席体験プログラム、大人のための寄席体験)	芸能ホール
10	4月-3月	講座事業	芸能ホール／その他
11	4月-3月	アウトリーチ	施設外
12	4月-3月	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム	芸能ホール／施設外

③芸術文化資源の収集、保存及び活用(定款第4条第1項第5号)

No.	実施時期	事業名	会場
13	4月-3月	電子大福帳(公演情報アーカイブ)	その他

■横浜赤レンガ倉庫1号館

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

No.	実施時期	事業名	会場
1	4月	演劇公演「クロードと一緒に」	横浜赤レンガ倉庫1号館 ホール
2	4月-5月	スヌーピー展	横浜赤レンガ倉庫1号館 スペース
3	5月	五だ路子ひとり芝居「横浜ローザ」赤い靴の娼婦の伝説	横浜赤レンガ倉庫1号館 ホール
4	7月-8月	夏季共催 展示	横浜赤レンガ倉庫1号館 スペース
5	9月	Rolly コンサート (仮称)	横浜赤レンガ倉庫1号館 ホール
6	11月-12月	きゆうかくしお (森山未来・辻本知彦) ダンス公演	横浜赤レンガ倉庫1号館 ホール
7	11月-2月	アートリンク in 横浜赤レンガ倉庫	横浜赤レンガ倉庫 イベント広場
8	1月	福知山市 佐藤太清賞公募美術展	横浜赤レンガ倉庫1号館 スペース
9	1月	ベローズ・ラバーズ・ナイト	横浜赤レンガ倉庫1号館 ホール
10	1月-2月	横浜ダンスコレクション2020	横浜赤レンガ倉庫1号館ほか
11	3月	great journey 4th	横浜赤レンガ倉庫1号館 ホール

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

No.	実施時期	事業名	会場
12	6月	神奈川県芸術舞踊協会公演	横浜赤レンガ倉庫1号館 ホール
13	6月-9月	「#カンパイ展」(仮称)	横浜赤レンガ倉庫1号館 ホール
14	7月	教員向け協働プログラム	未定
15	9月-11月	ラグビーW杯関連 岡部文明2019展	横浜赤レンガ倉庫1号館 スペース
16	10月	横浜 JAZZ PROMENADE 2019	横浜赤レンガ倉庫1号館 ホール
17	2月-3月	卒業制作展	横浜赤レンガ倉庫1号館 ホール・スペース
18	未定	企業・地域と劇場をつなぐ 赤レンガ・ダンスプロジェクト	未定
19	未定	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム	市内小学校
20	通年	フラワーガーデン、横浜フリューリングスフェスティバル、RED BRICK Resort、横浜オクトーバーフェスト、クリスマスマーケット	赤レンガイベント広場

③芸術文化振興のための国内外との交流(定款第4条第1項第8号)

No.	実施時期	事業名	会場
21	6月	横浜フランス月間展示	横浜赤レンガ倉庫1号館 スペース
22	2月	HOTPOT 東アジア・ダンスプラットフォーム	横浜赤レンガ倉庫1号館ほか

■横浜市民ギャラリー

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

No.	実施時期	事業名	会場
1	9月-10月	新・今日の作家展2019	展示室B1、1
2	8月	横浜市民ギャラリーアーツフェスティバル事業	展示室B1

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

No.	実施時期	事業名	会場
3	7月	横浜市こどもの美術展2019	展示室B1、1、2、3
4	通年	大人のためのアトリエ講座	アトリエ
5	通年	ハマキッズアートクラブ	アトリエ
6	10月-2月	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム	市内
7	1月	アートティーチャーズプロジェクト	アトリエ

③芸術文化資源の収集、保存及び活用(定款第4条第1項第5号)

No.	実施時期	事業名	会場
8	3月	横浜市民ギャラリーコレクション展2020	展示室B1、1
9	通年	コレクション管理	—

④芸術文化に関する情報の収集及び提供(定款第4条第1項第6号)

No.	実施時期	事業名	会場
10	通年	「アートヨコハマ」「横浜画廊散歩」「ヨコハマ・ギャラリー・マップ」の発行	—

■横浜市民ギャラリーあざみ野

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

No.	実施時期	事業名	会場
1	6月-8月	[企画展①]あざみ野こどもぎやらい2019 *小学校アウトリーチ(写真)含む	展示室1、2
2	8月-11月	横浜アーツ・フェスティバル「横浜音祭り2019」関連事業	レクチャールーム 他
3	10月	[企画展②]あざみ野コンテンポラリーVol.10	展示室1、2
4	1月-2月	[企画展③]あざみ野フォトアニュアル	展示室1、2
5	通年	ショーケースギャラリー	エントランス
6	通年	フェローアートギャラリー	2階ロビー
7	通年	あざみ野サロン	レクチャールーム 他

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

No.	実施時期	事業名	会場
8	通年	市民のためのプログラム	アトリエ
9	通年	子どものためのプログラム	アトリエ
10	7月-9月	教師のためのプログラム	アトリエ
11	未定	教師のためのワークショップ成果展「横浜市立中学校アニメーションフェスティバル」	アトリエ
12	通年	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム	市内小・中学校
13	通年	造形活動による学校支援	アトリエ
14	通年	「アーティストに学ぶ」	アトリエ
15	通年	あざみ野カレッジ	アトリエ
16	通年	アートサポーターによるワークショップ(子どもの日、クリスマス)	エントランスロビー
17	11月-12月	クリスマスジュニアコーラス	アトリエ、ロビー他
18	通年	あざみ野アートワゴン&マルシェ	エントランスロビー
19	未定	地域アウトリーチ事業	施設外
20	未定	文化芸術と男女共同参画の協働事業 (講演会・映画会等)	レクチャールーム等
21	通年	【センター北共催事業】ロビーコンサート	エントランスロビー
22	10月	【センター北共催事業】アートフォーラムフェスティバル2019	アートフォーラム全館
23	7月	あおば美術公募展	展示室1・2
24	12月	フォトジェニック青葉	展示室1
25	11月	青葉区民芸術祭作品展	展示室1・2

③芸術文化資源の収集、保存及び活用

No.	実施時期	事業名	会場
26	通年	カメラ・写真の保存・修復、データベースの整理	展示室1、2

27	通年	ギャラリー イン ザ ロビー	エントランスロビー
28	通年	ギャラリー オン ザ マガジン	—

④芸術文化に関する情報の収集及び提供(定款第4条第1項第6号)

No.	実施時期	事業名	会場
29	通年	情報誌「アートあざみ野」発行	—

⑤芸術文化振興のための国内外との交流(定款第4条第1項第8号)

No.	実施時期	事業名	会場
30	通年	大学連携	—

■磯子区民文化センター

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

No.	実施時期	事業名	会場
1	5月予定	杉劇アート de 伝承プロジェクト 「古典芸能体験塾」横浜夢座	ホール
2	6月2日	石田泰尚ヴァイオリンリサイタル	ホール
3	8月8日	気仙沼音楽復興支援ジャズライブ	ホール
4	10月	マリア・エステル・グスマン(ギター) & 高木洋子(ピアノ) デュオ	ホール
5	10月12日	川久保純子ピアノリサイタル	ホール
6	10月24日 ~27日	シンセティックオペラ「真昼の夜想曲」	ホール
7	秋	杉劇アート de 伝承プロジェクト 伝承プログラム「古典芸能体験塾」 雅楽	ホール
8	12月6日	新生若獅子公演	ホール
9	3月14日	チェコ・フィル・ストリング・カルテット	ホール
10	12月	杉劇アート de 伝承プロジェクト 「古典芸能体験塾」劇団若獅子	ホール
11	12月	ひよこ♪クリスマスコンサート	ホール

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

No.	実施時期	事業名	会場
12	6月7日、8日	イマージュISOGO	ホール
13	通年 3月1日(演奏会)	杉劇リコーダーズ ワークショップ、定期演奏会	リハーサル室 ホール
14	通年	杉劇アート de 伝承プロジェクト 調査・記録プログラム(いそご文化円卓会議)	地域
15	通年	杉劇アート de 伝承プロジェクト 地域文化普及プログラム(杉劇☆歌劇団)	リハーサル室、ホール
16	通年	杉劇アート de 伝承プロジェクト 教員向け講座	学校、地域
17	通年	歌声を届けようプロジェクト	学校、地域
18	8月	夏まつり ひよこコンサート	ホール
19	11月8日	劇団「横綱チュチュ」	ホール
20	未定	劇団「糸」	リハーサル室
21	未定	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム	学校、地域地域
22	12月	第7回磯子音楽祭	磯子公会堂
23	通年	杉劇@助っ人隊	全館
24	未定	杉劇キャラバン	学校、地域
25	未定	居場所づくり事業 杉劇ちよこっとカフェ	ロビー、リハーサル室

③芸術文化活動拠点の開発及び運営

No.	実施時期	事業名	会場
26	8月	杉田劇場夏まつり2019	全館
27	通年	ロビーパフォーマンス	ロビー

④芸術文化資源の収集、保存及び活用

No.	実施時期	事業名	会場
28	通年	杉劇アート de 伝承プロジェクト いそご文化資源発掘隊	地域
29	3月	杉劇アート de 伝承プロジェクト 広報(文化ガイドマップ作成)	—
30	未定	杉劇アート de 伝承プロジェクト 地域文化普及プログラム(伝承WS)	ホール、リハーサル室
31	通年	杉劇アート de 伝承プロジェクト 報告書、調査・記録プログラム(調査・記録)	—

⑤芸術文化に関する情報の収集及び提供(定款第4条第1項第6号)

No.	実施時期	事業名	会場
32	3月	杉劇アート de 伝承プロジェクト 報告書	—

■大佛次郎記念館

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

No.	実施時期	事業名	会場
1	4月-9月	テーマ展示Ⅰ「大和和紀『ヨコハマ物語』×大佛次郎の横濱」	大佛次郎記念館 ギャラリー
2	9月-12月	テーマ展示Ⅱ「大佛次郎 花のエッセイ(仮)」	大佛次郎記念館 ギャラリー
3	1月-3月	テーマ展示Ⅲ「大佛次郎の少年少女小説(仮)」	大佛次郎記念館 ギャラリー
4	3月	大佛次郎賞受賞記念講演会	横浜市開港記念会館

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

No.	実施時期	事業名	会場
5	4月、10月	大佛茶亭公開	鎌倉 大佛茶亭
6	8月	夏休み子どもアドベンチャー	大佛次郎記念館
7	11月	第7回ミニ・ピブリオバトル	大佛次郎記念館 サロン
8	5月、11月	大佛次郎研究会 公開発表会	神奈川近代文学館 展示館2階ホール
9	2月-4月	大佛次郎×ねこ写真展2020	大佛次郎記念館 会議室
10	通年	近隣施設等連携 県博物館協会主催「ミュージアムミッション2019」 緑の協会主催「ハロウィンウォーク」 山手ユースギャラリー	大佛次郎記念館

③芸術文化資源の収集、保存及び活用(定款第4条第1項第5号)

No.	実施時期	事業名	会場
11	3月-11月	和室公開	大佛次郎記念館 和室

④芸術文化に関する情報の収集及び提供(定款第4条第1項第6号)

No.	実施時期	事業名	会場
12	通年	収蔵品展	大佛次郎記念館 展示室
13	通年	愛蔵品展示	大佛次郎記念館 展示室
14	通年	資料収集・保存・修復・活用・データベース整理等	大佛次郎記念館
15	未定	ブックレット制作	大佛次郎記念館

⑤芸術文化に関する調査研究及び政策提言(定款第4条第1項第7号)

No.	実施時期	事業名	会場
16	11月	「おさらぎ選書」刊行	大佛次郎記念館

■経営企画室／総務グループ／広報・ACYグループ／協働推進グループ

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

No.	実施時期	事業名	会場
1	9月～11月	横浜音祭り2019	市内各所
2	未定	芸術創造特別支援事業「シンボルプログラム」	未定

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

No.	実施時期	事業名	会場
3	10月	横濱 JAZZ PROMENADE 2019	横浜市開港記念会館、関内ホール、KAAT神奈川芸術劇場ほか
4	未定	市内ジャズフェスティバル、市民ジャズ愛好家団体への運営協力	未定
5	未定	横浜市芸術文化教育プラットフォーム	未定
6	通年	ヨコハマアートサイト2019	市内各所
7	通年	アーツコミッション・ヨコハマ相談窓口等	—

③芸術文化活動のための助成(定款第4条第1項第3号)

No.	実施時期	事業名	会場
8	通年	創造都市横浜における若手芸術家育成助成 クリエイティブ・チルドレン・フェローシップ	—
9	通年	クリエイティブ・インクルージョン活動助成	—
10	通年	創造産業促進助成(仮称)	—
11	未定	芸術創造特別支援事業「リーディングプログラム」	—

④芸術文化活動拠点の開発及び運営(定款第4条第1項第4号)

No.	実施時期	事業名	会場
12	11月	関内外OPEN! 11	創造界隈ほか
13	通年	ドックヤードガーデン活用事業(BUKATSUDO)	—

⑤芸術文化に関する情報の収集及び提供(定款第4条第1項第6号)

No.	実施時期	事業名	会場
14	通年	創造都市プロモーション	—
15	通年	web「ヨコハマ・アートナビ」リニューアルおよび運用	—

⑥芸術文化に関する調査研究及び政策提言(定款第4条第1項第7号)

No.	実施時期	事業名	会場
16	2-3月	「文化芸術創造都市プラットフォーム」運営	—

⑦芸術文化振興のための国内外との交流(定款第4条第1項第8号)

No.	実施時期	事業名	会場
17	2月	国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2020 (TPAM 2020)	KAAT神奈川芸術劇場ほか
18	2-3月	英国ホストタウン交流事業	未定

5 運営施設一覧

(1) 運営施設

	施設名	所在地	施設内容
1	横浜美術館	西区みなとみらい 3-4-1	展示室(7室、2,668㎡) 市民のアトリエ(586㎡)、子どものアトリエ(631㎡) 美術情報センター(935㎡) アートギャラリー1(195㎡)アートギャラリー2(167㎡) ミュージアムショップ、レクチャーホール(240席)
2	横浜みなとみらいホール	西区みなとみらい 2-3-6	大ホール(2,020席)、小ホール(440席) リハーサル室(212㎡)、レセプションルーム(176㎡) 音楽練習室(6室)
3	横浜能楽堂	西区紅葉ヶ丘 27-2	本舞台(486席)、第二舞台 研修室(4室)、展示廊等
4	横浜にぎわい座	中区野毛町3-110-1	芸能ホール(391席)、小ホール 練習室、制作室
5	横浜赤レンガ倉庫1号館	中区新港 1-1-1	ホール(最大444席)、多目的スペース(3室)等
6	大佛次郎記念館	中区山手町 113	展示室(35㎡)、ギャラリー(64㎡)、記念室、閲覧 室、サロン、会議室、和室
7	横浜市民ギャラリー	西区宮崎町 26-1	展示室(1,146㎡)、アトリエ(148.6㎡)
8	横浜市民ギャラリーあざみ野	青葉区あざみ野南 1-17-3	展示室(610㎡)、アトリエ(142㎡)、アートプラザ
9	横浜市磯子区民文化センター 「杉田劇場」	磯子区杉田 1-1-1 らびすた新杉田 4F	ホール(310席)、ギャラリー(110㎡)、リハーサル室 会議室(3室)、練習室(3室)等

(2) 指定管理者の共同事業体の一員として管理運営に参加している施設

	施設名	所在地	施設内容
1	横浜市市民文化会館 関内ホール	中区住吉町 4-42-1	大ホール(1,102席)、小ホール(264席) リハーサル室(4室)等
2	横浜市吉野町市民プラザ	南区吉野町 5-26	多目的ホール(200席)、スタジオ(3室) ギャラリー(140㎡)、会議室等
3	横浜市岩間市民プラザ	保土ヶ谷区岩間町 1-7-15	ホール(185席)、スタジオ(4室)、ギャラリー(85㎡) リハーサル室、レクチャールーム等
4	緑区民文化センター 「みどりアートパーク」	緑区長津田 2-1-3	ホール(334席)、ギャラリー(123㎡)、 リハーサル室、練習室(3室)、会議室等

